NIE実践報告

1．タイトル：新聞を読み取ろう

2．学校名

大洲市立肱東中学校

3．実践者名（代表者名）

福岡眞一

4．学年

第１学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　４８人

6．単元（本時の学習課題）名

「漢語・和語・外来語」

7．目標(狙い)

新聞の書き方の特徴を知るとともに、新聞に親しむ態度を育成する。

8．評価の視点

新聞の見出し、本文、その他の部分で、漢語・和語・外来語がどのように使われているか区別・分類し、その特徴について知ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

漢語・和語・外来語　（２時間）

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)　教科書をもとに、漢語・和語・外来語について理解する（1時間）
(2)　新聞から漢語・和語・外来語を抜き出し、それぞれの特徴について理解を深める（1時間）

(留意点)
・　新聞記事の書かれ方と、漢語・和語・外来語の特徴を照らし合わせて、理解を深めさせる。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

普段あまり新聞を手に取ることの少ない生徒であったが、楽しそうに活動を行い、新鮮な気持ちで学習に取り組めていた。

12. 成果と課題

新聞の特徴に関しては、漢語による情報を端的に伝える見出しの効果にほとんどの生徒が気づくことができた。また、広告欄やテレビ欄に外来語が多く用いられている傾向にも気づくことができた。しかし、漢語・和語・外来言の区別については前時までに行っていたが、まだ理解が不十分な生徒が見られた。さらに理解の定着を図っていきたい。

本時の授業を機に、新聞の閲覧場所である図書室で新聞に親しむ生徒が増えたが、日常的に新聞に親しむ態度を身に付けさせていくことが課題である。